

学校教育目標の実現をめざして

橘小学校に赴任して3年目となりました。

橘小学校は、学校教育目標である「生きる力を身につけ、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子」の育成をめざしています。この「生きる力」とは、知・徳・体のバランスの取れた力のことであり、「学校・家庭・地域の思い」とは、教職員及び保護者、地域の人たちが、様々な教育活動を通して、育てたい子どもの姿のことです。そして、「思いを受け継ぐ」とは、話をよく聞き、自分のできることを考え、やってみることです。

校長として橘小学校の様々な教育活動に取り組む中で、「自分も大人になったら橘町の役に立ちたい」「今までお世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えたい」という6年生の思いにふれることができました。このことから、子供たちが小学校6年間の学校生活の中で、学校教育目標である「学校・家庭・地域の思い」をしっかりと受け継いでいることが実感できました。また、私自身も子供たちや保護者、地域の人たちとのかかわりあいの中から数多くのことを学ばせて頂きました。

私は、学校を、『児童が、教職員や保護者、地域の人たちと交流する場』と考えています。だから、「自分の町にこんな小学校があって幸せです。」このような言葉を今年もたくさん頂けるように頑張りたいと思いながら新年度をスタートしました。橘小学校は、花まるタイムや青空教室、営農教室やたんぼの学校など、保護者や地域の人たちと交流する活動がたくさんあります。ところが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、保護者や地域の人たちと交流することが難しい年となりました。地域の人たちからは、「残念です」「さみしくしています」などの声を頂きます。

今年1年間、新型コロナウイルスの感染状況がどのように変化するか分かりませんが、子ども達はもちろんのこと、保護者や地域の人たちにとって我が町の自慢できる学校になるように全職員で力を合わせて頑張っていきたいと思えます。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い致します。